

3年ぶりに
開催

令和4年度 熊本学園大学 春期公開講座

過去を振りかえり今を見る～国際的な視点から～

熊本学園大学は、地域に根ざした大学として知的財産を社会に還元することを目的に、平成3年度より地域の皆さまや学生を対象とした公開講座を開講しています。毎回、政治・経済から文化、芸術、教育まで社会的に関心の高いタイムリーなテーマを設定し、本学教員が中心となって講師を担当します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、令和2年度以降は開催を見合わせておりましたが、今年度は感染防止対策を講じ、6月4日（土）から全4回にわたり対面で開催します。

今回は、4月中旬より受講生の募集を開始したところ、既に定員に達する受講申込があり、国際情勢への関心と生涯学習の機会に対する期待の高さが伺える状況となりました。

よろしければ取材いただきますよう、お願い申し上げます。

全体テーマ：過去を振りかえり今を見る～国際的な視点から～

主 旨：世界がコロナ禍の対応に追われているなかでも、国際情勢は変化し続けました。米中の覇権争いで、役割が際立ってきたのは台湾、その台湾を植民地期の熊本の人はどう見ていたのかを初回で述べます。次に、コロナ後の経済の回復が期待されるなか、経済活動で人間が繰り返す熱狂的な集団行動を取り上げます。また、コロナ禍の部品供給網の混乱をきっかけに注目を浴びるアセアン諸国の社会経済と人々の暮らし、さらに新たな国際協調体制が模索されるなかで、日本に対して独自の姿勢をとる韓国など、現在の状況について過去を振りかえりながら、国際的な視点から読み解きます。

会 場：14号館1階 1411教室

対 象：一般の方、学生（高校生以上）

受講者数：約60名

日程	講義テーマ	講師
6月4日（土）	植民地期台湾の光と影 ――熊本の作家、坂口樗子の「物語」から読み解く	小笠原 淳（外国語学部准教授）
6月11日（土）	バブルの歴史 ～繰り返される熱狂と暴落～	北島 孝博（商学部准教授）
6月18日（土）	アセアン（東南アジア）諸国の社会経済と暮らし	エイ チャン プイン（経済学部准教授）
6月25日（土）	韓国の対日感情と朝鮮戦争の記憶	矢野 謙一（外国語学部教授）

※各回 10:00～12:00

※初回（6月4日）は、9時50分より開講式とオリエンテーションを行います。

取材ご希望の方はご一報いただきますようお願いいたします

～・本リリースについてのお問合せ～



熊本学園大学 広報室 TEL: 096-364-8722 (直通)

メール: koho-kgu@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>



2022年
熊本学園創立80周年